

令和4年10月11日

職員

大学院生

各位

業務委託・派遣職員

健康管理センター長

令和4年度 インフルエンザワクチン接種について

本学感染対策の一環として、インフルエンザワクチン接種を下記のとおり実施します。ワクチンを接種することで発病の可能性を低減させる効果と重症化を防ぐ効果を得られます。接種不可能な理由のある方以外は積極的に接種してください。なお、下記日程で都合が合わない方は各自で接種していただくようお願いいたします。

記

1. 日時・場所

接種日	時間	場所
10/18 (火)・19 (水)	9:30~11:30 13:30~16:30	【内丸】 創立60周年記念館 8階 研修室・ラウンジ
10/22 (土)	9:30~11:30	【矢巾キャンパス】 西講義実習棟2階 西2-C実習室
10/24 (月)~28 (金)	9:30~11:30 13:30~16:30	

2. 料 金 **1,500円** (つり銭のないように準備してください。当日受付で徴収します。)

3. 持ち物 **予診票、確認事項、料金を会場に持参**してください。

4. 注意事項

- (1) 発熱等体調不良の場合は接種できません。(受付で健康確認を行います。)
- (2) 必ずマスクを装着し、会場にお越してください。
- (3) 物品の共有を避けるため、ボールペンを持参してください。
- (4) 本紙裏面の説明文をお読みいただいたうえ、予診票はボールペンで記入してください。
- (5) **現病歴がある方や妊娠中の方は、事前に主治医に相談**してください。
- (6) **新型コロナワクチン接種前後2週間はインフルエンザワクチンを接種できません。新型コロナワクチンを接種予定の方は期間にご注意ください。**(本学で4回目の新型コロナワクチンを接種された方は、期間が2週間以上空くため、今回実施するインフルエンザワクチン接種は可能です。)
- (7) 職員・大学院生の場合、育児休業や出張中等であっても、インフルエンザ流行時期(11月~3月頃)に就業する方で、上記期間内に接種できる場合は、接種可能です。
- (8) 本紙裏面に記載してある副反応が出た場合には、健康管理センターに相談してください。
- (9) **他医療機関等で個人でワクチンを接種する場合は、予診票に個人で接種する旨を記載し、健康管理センターへ提出**してください。(大学として正確な接種率を把握するため)
- (10) 領収書が必要な方は、11月4日(金)以降に健康管理センターに申請してください。
(発行は申請日の翌日となります)
- (11) 小さいお子様同伴での接種はご遠慮願います。

<問い合わせ先>
健康管理センター
内線(5019・5022)

インフルエンザHAワクチンの予防接種を受けられる方へ

1. インフルエンザHAワクチンについて

2022年度のインフルエンザHAワクチン製造株に基づき、A型H1N1、A型H3N2、B型山形系統、B型ビクトリア系統の4株混合のインフルエンザHAワクチンとして製造されたものです。

2. ワクチンの効果と副反応について

予防接種により、インフルエンザに感染しても症状が軽くすみます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

ワクチン接種に伴う副反応として、発熱、頭痛、倦怠感や注射部位が赤く腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなることがあります。ごく稀ですが次のような副反応を起こすこともあります。(1) ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）、(2) 急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等）、(3) 脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎(4) ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害等）、(5) けいれん（熱性けいれんを含む）、(6) 肝機能障害、黄疸、(7) 喘息発作、(8) 血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9) 血管炎（IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破碎性血管炎等）、(10) 間質性肺炎、(11) 皮膚粘膜眼症候群

（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症、(12) ネフローゼ症候群、このような症状が認められたり、疑われた場合はすぐに医師に申し出てください。なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた本人または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

3. 次の方は接種を受けないでください。

- 1) 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 過去にインフルエンザワクチンの接種により、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性の蕁麻疹などを伴う重症のアレルギー反応）を起こしたことがある方、なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした方は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください。
- 4) その他、いつも診てもらっている医師にワクチンを受けない方がいいと言われた方

4. 次の方は接種前に医師にご相談ください。

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患がある方
- 2) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹、蕁麻疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方
- 3) 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- 4) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、または近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- 5) 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患がある方
- 6) 薬の投与または食事（鶏卵、鶏肉等）で発疹がでたり、体に異常をきたしたことがある方
- 7) 妊娠または妊娠の可能性のある方

5. 接種後は以下の点に注意してください。

- 1) 接種後30分間は、アレルギー反応（息苦しさ、蕁麻疹、咳等）が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 副反応（接種部位の異常、発熱、頭痛、けいれん等）の多くは24時間以内に出現することが知られています。接種後1日は体調にご注意しましょう。万が一、高熱やけいれん等の異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。また、健康管理センターへの報告をお願いします。
- 3) 接種当日の入浴は差支えありませんが、注射部位をこすことはやめましょう。
- 4) 接種当日はいつも通りの生活をしましょう。接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は激しい運動や大量の飲酒を避けましょう。